



ほ、えみ

《病院理念》

私達は院是「誠」の医療を推進いたします

- 1. 私達は他人の為に尽くして感謝しよう
- 1. 私達は自分の力で伸びて行こう
- 1. 私達は私達の規則を尊重しよう



《基本方針》

1. 24時間いつでも治療が受けられる病院を目指します

- 1. 医師による説明と患者様の選択に基づく医療を推進いたします
- 1. 患者様のプライバシーを尊重いたします
- 1. 知識と技術の向上に努め最善の医療をいたします
- 1. 優しさ思いやりを大切に心のこもった公平な医療をいたします



胃潰瘍・十二指腸潰瘍の治療について

院長 古林 太加志

新しいスタート

平成 22年4月1日より新しい年度が始まります。最近、政府主導の「医療崩壊」という言葉が新聞やテレビ、雑誌などで騒がれ、病院が次々に潰れて無くなつて来ており、本当に心配するところですね。

めざましい医療の発達

ところで、私が医師免許をいただいたのが昭和 50年6月です。2年間の臨床研修を終え、大学での研究生活1年を経験しました。十全総合病院に赴任したのは昭和 53年 10月 16日の新居浜太鼓祭りの日でした。新居浜生活30年間を超える月日が過ぎてしまいましたがこの期間の医療の進歩には驚くものがあります。

潰瘍治療研究

潰瘍治療についても新しい薬がどんどん生まれ、胃潰瘍の原因についての研究も進んできました。昭和50年ごろには胃潰瘍に対する

胃を切る手術がそろそろ無くなって、胃切除術と言つてます。胃癌の治療を意味するようになって来ていました。内科では制酸剤や粘膜保護剤などを投与することもソルコセリルという注射を毎日1本、30日間注射するという治療が行われていました。潰瘍がなぜ出来るかということについてはいろいろな説がありました。胃内に産生される胃酸やタンパク消化酵素のペプシンが攻撃因子であると考えられていました。一方、血流や粘液、胃粘膜の修復力というものが防御因子と呼ばれていました。これらの攻撃因子と防御因子のバランスで潰瘍ができたり治つたりするという説が主に唱えられていました。

潰瘍治療薬

その後、シメチジンという薬が登場し酸がなければ潰瘍はない(no acid, no ulcer)という言葉が出現しました。実は胃潰瘍はプラセボ効果といって医師がニコッと笑つてメリケン粉を処方すると60%の治癒率が得られると言われています。ところがシメチジンを飲むと70から80%に治癒率が向上するようになりました。シメチジンはヒスタミン2受容体拮抗剤で、胃の中で胃酸が作られるのを妨げる働きがあります。商品名はタガメットです。この薬の仲間にガスター 10(ランソ)などがあります。

薬剤研究の進歩

続いて登場したのがさらに強い胃酸生成抑制剤であるプロトンポンプインヒビターと言われる薬剤です。この薬で80から90%の治癒率が得られるようになった。粘膜保護剤

が使われているのは日本だけで欧米の医師はその効果を信用していないようです。

ピロリ菌の発見

最近の潰瘍についての話題の中心はピロリ菌の発見です。胃潰瘍や十二指腸潰瘍の患者の胃内にはピロリ菌がいっぱいいて、除菌すると潰瘍の再発率が減少すると言われていました。

ピロリ菌研究

ピロリ菌はオーストラリアのマーシャル博士らによって発見され、彼らはノーベル賞を受賞しました。その後の研究でピロリ菌は胃潰瘍や十二指腸潰瘍に関係しているのみでなく、ピロリ菌の除菌は特発性血小板減少性紫斑病(ITP)、ある種の悪性リンパ腫に効果があることが証明されました。さらには胃癌の発生にも関与していることも解ってきました。ただし、現在医療保険でピロリ菌の検査や除菌が認められているのは胃潰瘍と十二指腸潰瘍に限られています。

大切なのは心

潰瘍の治療や研究はどんどん進んでいます。最も大切な医療の基本は患者と医師の心が通じ合いお互いに信頼しあっていることだと思います。今年度も皆で力を合わせて「医療崩壊」という言葉が蔓延しないようにしたいものです。

◎診察口【内科】

月～木曜日 午前8時45分～12時
金曜日 午後2～5時

※火・木・金曜日は予約制

ほほえみ医療メモ 

無菌調剤業務



薬局 松原 栄治

現 在、がんは、わが国においてもっとも身近な病気となっています。日本人は一生の間に2人に1人ががんになる可能性があり、3人に1人はがんで亡くなっています。しかし、抗がん剤による治療(化学療法)の成績は年々進歩を遂げ、がんの中には化学療法だけでもかなりの治療効果が得られるようになってきているものもあります。がん治療では医師、看護師、薬剤師などの医療関係者がチームを組んで患者様の治療にあたる『チーム医療』が一般的になりつつあります。

➡ れから抗がん剤による治療を受けられる患者様が、より安全に、安心して抗がん剤の治療を受けていただくために、当院の薬局で行っている化学療法に対する取り組みを紹介します。

抗 がん剤は一般薬と比べて、『治療に効果的』な薬の量と『副作用』が現れる可能性がある薬の量が近接あるいは重なっていることにより、わずかな投与量の違いによっても重篤な副作用が現れてしまう可能性が高いことが知られています。抗がん剤は治療効果と安全性を高めるため、投与量、投与期間、休薬期間、投与順序、投与経路、併用薬剤などが厳密に規定され、また副作用を防ぐことを目的とした薬の併用療法(支持療法)も行われていることから、投与方法はより複雑化しています。

➡ れに対応するのが『レジメン』すなわち、がん薬物療法における抗がん剤、輸液、支持療法などの薬剤の用法、用量、投与スケジュール、投与期間を具体的に定めた治療計画による管理です。当院では、病気別にレジメンを集め、それぞれの患者様別に『抗がん剤投与スケジュール表』を作成し、管理を行っています。これにより、本来投与されるべき抗がん剤が過量投与されるケースや、似た名前の抗がん剤のオーダーミス、併用してはい

けない抗がん剤を同時に投与してしまうなど、さまざまな医療事故を未然に防ぐことができます。

ま たレジメン管理を行うことで、それぞれの患者様の投与スケジュールが把握できます。このことにより、患者様が化学療法を受ける前に副作用の対策がとれます。薬の種類や量、治療にかかる時間、副作用の症状、いつくらいに現れて、どれくらいで治まるか、また症状がでたときの対処法などをあらかじめ説明することで、安心して治療を受けられるのではないかと考えております。

抗 がん剤の中には、がん細胞を抑える作用がある反面、正常な細胞への発がん性を持つものもあり、調整者が何度も抗がん剤を取り扱うことによる、健康上の危険性も報告されています。このため抗がん剤の調整にあたっては、調整手順、手技、汚染時の対処法を熟知した上で、手袋、マスク、ガウンなどを身に付け、無菌的操作による調整を行っています。



私 たちスタッフ一同は、患者様が安心して薬物治療を受けられるように、日々努力してまいります。ご不明な点などがあれば、遠慮なくご相談ください。



オムツ装着時の スキンケアについて

3病棟 白石 富江

健康な皮膚は、新陳代謝によって28日サイクルで新しい皮膚に生まれ変わります。皮膚は、弱酸性に保たれており、表皮の角質層には汗と油が混じり合っている弱酸性の皮脂膜があり、皮膚の水分消失を防ぎ柔軟性やうるおいを保っています。しかし、尿や便、汗などの汚れが長時間付着していると、皮膚のpHはアルカリに傾き、バリア機能は崩れ、皮膚障害が発生しやすくなります。

オムツ内は発汗や排泄物の水分で蒸れて高温多湿の状態です。皮膚は浸軟すると摩擦係数が高くなり容易に損傷しますので、オムツをしている患者の皮膚障害は、排泄物との接触と浸軟が主な原因となっています。

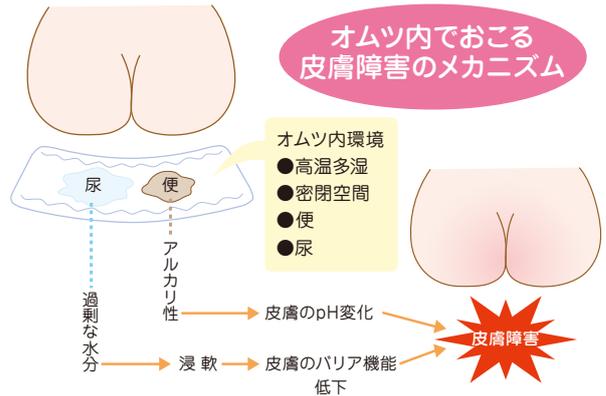
快適な皮膚環境を保つ上で、スキンケア用品や、失禁用品を適切に選択し、局所の清潔を維持することは、とても大切です。

オムツ内の環境

皮膚は弱酸性であるのに対し、排泄物はアルカリ性の刺激となり、皮膚障害の原因となります。

オムツかぶれの症状

オムツかぶれは、排泄物が繰り返し同じ部位に接触することにより、皮膚のバリア機能が崩れ、痛みや痒みを伴う紅斑や皮膚剥離、びらん、潰瘍などを生じます。



スキンケアのポイント

- ①皮膚の刺激をできる限り少なくして汚れを取る。
- ②セッケンは良く泡立て擦らずに包み込むようにして洗浄する。
- ③香料や殺菌作用のあるものは、刺激が強いため避ける。
- ④洗浄は1日1回程度にし、皮膚のバリア機能を低下させない。
- ⑤撥水性の高いクリームや、皮膚保护膜を使い、排泄物との接触を、可能な限り予防する。

皮膚障害があるとき

皮膚障害が発生したときは、かかりつけのお医者様と共に原因を模索して、褥瘡との区別をつけ、原因を除去する必要があります。

また、紅斑があるときは、皮膚損傷の予防が大切です。弱酸性の洗浄剤で愛護的に洗浄し、皮膚剤などで浸軟と摩擦を予防することが必要です。

皮膚剥離がある場合は、痛みが強いことがあるので、洗浄時の痛みを軽減するためにも人肌程度の生理食塩水などが有効です。

排泄への看護(介護)は、毎日のことであり、看護(介護)される側は、羞恥心も伴います。スキンケアを十分に行いトラブルの予防を行うことで、少しでも快適な生活が出来るようにしたいものです。

第9回 健康講座のご案内

参加費 無料

テーマ 単身赴任や一人暮らしの方 毎日の食事は大丈夫?



～上手な食事のとり方で生活習慣病予防!～
十全総合病院 栄養管理科長 山内 智美



日時 4月27日(火) 午後2時～3時
場所 別子銅山記念図書館 多目的ホール

主催:十全総合病院 TEL33-1818
後援:新居浜市立別子銅山記念図書館 TEL32-1911

どなたでもお気軽にご参加ください。お申し込みは不要です。

糖尿病教室のお知らせ

腎臓のおはなし

日時 毎週水曜日 午後2時～
場所 外来棟3階 カンファレンスルーム

腎臓のこと、透析療法のこと、疑問に思っていることをみんなで話し合います。お気軽にご参加ください。



開催日	内容	担当
4/7日	糖尿病腎症はどう進む?	内科医師 看護師
14日	聞いてみよう! 透析療法のはなし	透析室看護師長 臨床検査技師
21日	腎臓に無理をさせない食事と薬	管理栄養士 薬剤師
28日	糖尿病クイズ～合併症編～	看護師 理学療法士

※都合により内容が変更になる場合があります。

移動図書館青い鳥号 来院予定日

4/7水・21水

来院時間

午後3時10分～3時50分

お問い合わせは…

新居浜市立別子銅山記念図書館
TEL 0897-32-1911

◎悪天候や特殊な事情により、運行を中止することがあります。

病院敷地内全面禁煙

トイレや人目につかないところでの喫煙は防火管理上も大変危険ですので、喫煙はくれぐれも遠慮下さい。皆様のご理解とご協力を、よろしくお願い致します。 病院長

十全総合病院外来診療表

平成22年4月1日現在

診療科	2階 23番受付								2階 24番受付						1階 11番受付				
	内科				循環器科		泌尿器科		小児科		耳鼻咽喉科		歯科・口腔外科・矯正歯科		放射線科				
	午前				午後				午前		午後		午前		午後				
区分	一般外来				一般外来	内分泌外来	禁煙外来	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後		
曜日	一般外来				一般外来	内分泌外来	禁煙外来	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後		
月	玉井(呼吸器)	花野	須崎	古林	—	—	—	—	—	渡邊	—	占部	占部	宮本向川	宮本	花野中村・藤善	花野中村・藤善	北川	北川
火	山根	古林(予約制)	野呂	須崎	花野	山根	—	—	—	渡邊	—	占部	占部	宮本	—	花野中村・藤善	花野中村・藤善	北川	北川
水	山根	玉井(呼吸器)	花野	古林	野呂	山根	玉井(予約制)	水口	—	渡邊	—	占部	占部 乳検(予約制)	宮本	補聴器外来 予約制	花野中村・藤善	花野中村・藤善	北川	北川
木	古林(予約制)	玉井(呼吸器)	野呂	—	山根	山根	—	—	—	渡邊	—	占部	占部	宮本竹田	—	花野中村・藤善	花野中村・藤善	北川	北川
金	玉井(呼吸器)	野呂	花野	須崎	古林(予約制)	—	—	水口	—	渡邊	—	占部	占部	宮本	宮本	花野中村・藤善	花野中村・藤善	北川	北川
土	当番医	当番医	—	当番医	—	—	—	—	—	渡邊	—	岡大より	—	当番医	—	花野中村・藤善	—	北川	—
診療時間	8:45~12:00				2:00~5:00	2:00~4:00	3:00~5:00	8:45~12:00	—	8:45~12:00	—	8:45~12:00	2:00~5:00	8:45~12:00	3:00~5:00	8:45~11:30	1:30~4:30	8:45~12:00	1:30~5:00
備考	4/3土曜日・4/17土曜日 午前 三木 老年病内科				第1水曜日 2:30~5:00 木曜日のみ 2:00~4:30	—	—	—	—	—	—	—	火・水・木曜日 一般診察 3:30~4:30	—	補聴器外来 第2週・第4週 2:00~3:00	予約制	予約制	予約制	予約制

診療科	3階 31番受付								3階 33番受付				3階 34番受付									
	外科				胃腸科		整形外科		脳神経外科		形成外科・皮膚科		麻酔科		眼科		産婦人科		精神科内科			
	午前				午後				午前		午後		午前		午後		午前		午後			
区分	一般 肛門腸血管				一般 乳腺血管				午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後		
曜日	一般 肛門腸血管				一般 乳腺血管				午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後		
月	太田前	大橋	—	—	—	—	大橋	—	松尾真	—	中村宇都宮	—	秋田	—	湖城	—	増田	—	木花	—	岡田秀雄	—
火	佐々木	—	松本	当番医	松尾真	松本	佐々木	—	日野	—	中村宇都宮	中村	秋田	秋田	湖城	—	増田	—	木花	—	太田純	太田純
水	松尾真	大橋	—	—	—	—	大橋	—	松尾真	—	中村	—	秋田	秋田	湖城	—	増田	—	木花	木花	太田恵	太田恵
木	佐々木 太田前	—	松本	当番医	松尾真	—	太田和	—	松尾真	—	中村宇都宮	—	秋田	秋田	湖城	—	増田	—	木花	—	岡田秀之	—
金	佐々木	—	松本	—	—	松本	佐々木	—	松尾真 中田	—	中村宇都宮	宇都宮	秋田	—	湖城	—	増田	—	木花	木花	—	—
土	当番医	—	—	—	—	—	当番医	—	当番医	—	宇都宮	—	秋田	—	湖城	—	—	—	木花	—	—	—
診療時間	8:45~12:00				3:00~5:00	1:30~5:00	8:45~11:30	—	8:45~12:00	—	8:45~12:00	2:00~5:00	8:45~12:00	1:30~5:00	8:45~12:00	—	8:45~12:00	—	8:45~12:00	2:00~4:00	8:45~12:00	1:30~3:00
備考	4/27 4/30 休診				予約制	4/27 4/30 休診	—	—	火・土曜日は 予約・急患のみ	—	—	—	第1水曜日 午後休診	—	鍼灸棟 8:45~12:00	—	—	—	土曜日 休診	—	—	金・土曜日 休診

*ストーマ外来当番医(予約制) 第4木曜日 午後1:30~4:30

*第1・3・5土曜日の午前中は診察をいたしております。

*リウマチ専門外来:4/9(金)午前10:30~午後4:00 *フットケア外来:毎週火曜日(予約制)

*糖尿病教室:毎週水曜日、午後2:00~4:00 場所/外来棟3階カンファレンスルーム *透析:月、水、金(昼間・夜間) 火、木、土(昼間)



〒792-8586 愛媛県新居浜市北新町1番5号
TEL(0897)33-1818 FAX(0897)37-2124

ホームページアドレス
http://jyuzen.jp/

編集 広報誌編集活動委員会



2010年 4月カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

※○は休診日となっております。

●診察券をご持参でない方(各診療科にて)

●四ヶ月以内に受診歴がない方

※左記の方は、再来受付機をご利用出来ませんので、お手数ですが各科受付にお申し出ください。

◆各科受付時間
月~金 午前8時15分~正午まで
午後1時30分~5時まで
土曜日 午前8時15分~正午まで

◆初診受付、再来受付機受付時間
※初診受付は、初めての患者様に限りです。
月~金 午前8時~正午まで
午後1時~5時まで
土曜日 午前8時~正午まで

◆初診受付、再来受付機受付時間
※初診受付は、初めての患者様に限りです。
月~金 午前8時~正午まで
午後1時~5時まで
土曜日 午前8時~正午まで

◆初診受付、再来受付機受付時間
※初診受付は、初めての患者様に限りです。
月~金 午前8時~正午まで
午後1時~5時まで
土曜日 午前8時~正午まで

◆初診受付、再来受付機受付時間
※初診受付は、初めての患者様に限りです。
月~金 午前8時~正午まで
午後1時~5時まで
土曜日 午前8時~正午まで